

【別添2】（様式例1）

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

岐阜県立大垣北高等学校

学校番号

32

1 学校教育目標	人間尊重を基調とし、智・徳・体の調和のとれたたくましく豊かな人間性を育み、高い志とグローバルな視野をもって人類・社会に貢献できる有能な人材を育成する。そのため、“誠実・友愛・努力”を本校の生活信条とし、その具現に努める。
2 現状の分析	○生徒、保護者ともに教員の授業に対する信頼が厚い。 ○新型コロナウイルス感染症防止策に対する評価が高い。 ▲グローバル人材に必要な資質、能力を育成するための総合的な探究の時間のさらなる工夫。 ▲教職員の働き方についてのさらなる見直し。
3 学校の抱える課題	・時間外勤務が月45時間を超える超過勤務職員の存在。（学校経営） ・生徒の主体的な学習態度の育成と新学習指導要領に基づく教育課程の準備。（学習指導） ・進路意識の醸成に繋がるキャリアパスポートの活用。（進路指導） ・危機管理マニュアルを遵守した初期始動と組織的な対応の徹底。（生徒指導）
4 今年度の具体的な重点目標	◇働き方改革を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の適切な対応策を講じる。 ◇オンライン学習支援等の取組を通して、生徒の主体的学習態度と教員のICT能力を培う。 ◇キャリア教育を通して、高い志と向上心を育成し、個々の生徒の進路実現を図る。 ◇心身共に健全で品格のある生徒の育成を図るために、生徒にとって安心安全な環境を整備する。

年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
学校経営	①勤務時間の弾力的な運用の積極的な活用	①教員の時間外勤務は、月45時間、年間360時間以内	①勤務時間のスライド、週休日の振替、4週間単位の変形労働時間制を積極的に活用できた。	B	○スライド勤務や勤務の割振を活用する職員が増加した。 ○管理当番による朝の開錠を30分遅くすることができた。 ○19時の退勤時刻を意識する職員が増加した。 ▲1か月の時間外勤務が45時間を超える職員を根絶できなかった。 ○12月末まで感染症クラスターを発生させていない。	Ⓐ B C D
	②ICT機器を使った業務の簡素化		②Formsによる欠席連絡を実現し、管理当番の電話番業務をなくし、業務の時間を短縮することができた。	A		
	③部活動や補習の見直し		③本年度は、スタディサプリを補習・土曜講座の代替として活用できた。	A		
	④最終退校時刻の繰り上げ		④ほとんどの教員が19時までに退勤できるようになった。	A		
	⑤勤次郎の正確な打刻		⑤「勤次郎」による正確な打刻により、時間外勤務の内容を分析することができた。	A		
	⑥健康観察や消毒、換気の励行などの仕組みづくり	②感染症クラスターを発生させない。	⑥全職員の協力のもと、感染防止対策を推進することができた。	A		
	⑦密になる行事の大幅な見直し		⑦行事による感染を防ぐことができた。	A		

学習指導	①オンライン学習支援等の取組を通して、生徒の主体的学習態度と教員のICT能力を培い、教材や指導法の改善を図る。	①ICT機器を効果的に用いた教材開発や指導法の改善により、生徒の深い学びを実現する。	①全生徒へのタブレットを配付し、授業等で活用する環境を整えることができた。 ②タブレットの使用ルールを策定し、運用を開始することができた。 ③全職員によるMetaMojiの研修を実施することができた。	A	○オンライン学習支援の体制を県下で一番早く整え、多くの学校の範となった。 ○多くの教員がMetaMojiに関心を持ち、実際、授業での効果的な活用に挑戦した。 ▲ICT機器の活用によって生徒の学力が向上しているかの検証が必要である。 ▲観点別評価の試行とともに、段階評価の見直しを推進する必要がある。	Ⓐ B C D
	②新学習指導要領の教育課程について、編成方針を明らかにして編成するとともに、観点別評価の方法を研究し、新課程に向けた準備を行う。	②新学習指導要領の教育課程を年度内に編成し、本校における観点別評価の導入を策定する。	①令和7年度大学入学共通テストでの受験科目に柔軟に対応できる教育課程を編成することができた。 ②令和4年度から実施する観点別評価の導入に向けて、令和3年度の1年生で試行する準備を整えることができた。	A		
進路指導	①「進路のしおり」をキャリアパスポートとして機能を持つように改編し、積極的に活用することを通して、生徒一人一人が自己の進路意識を醸成する。	①「進路のしおり（キャリアパスポート）」を進路意識の醸成に繋げるとともに、学校推薦型や総合選抜に効果的に活用する。	①従来の「進路のしおり」に「キャリアパスポート編」を加えることで、「学期の計画と振り返り」「学校行事について」「卒業に向けて」といったページに記録を残すことができた。 ②「進路のしおり」の内容を進路講演会や学年集会で紹介する等、活用することができた。	A	○「進路のしおり（キャリアパスポート）」を昨年度まで以上にLHR等で活用することができた。 ○コロナ禍で補習や土曜特講が実施できないなか、スタディサプリに対する生徒・保護者の評判が非常に良かった。 □大学の合格実績については、年度末まで未定である。 ▲コロナ感染予防の面からも、全員で受験を乗り越えようという意識を醸成することが難しかった。	A Ⓑ C D
	②最難関大学を志望する生徒を中心とした組織的・定期的な面談や、スタディサプリを効果的に活用した生徒の主体的な学習等を通して、生徒の向学心や進路意識を高める。	②最難関大学20人以上、難関大学50人以上、国公立大学230人以上の合格を目指す。	①土曜特講に代わりに導入したスタディサプリによって、生徒の主体的な学習を推進することができた。また到達度テストで苦手分野を特定し、習熟度をあげることができた。 ②最難関大学志望者との面談によって、進路意識を高めることができた。	B		
生徒指導	①効果的な情報モラル教育や人権教育等を行い、生徒の人権意識を高めるとともに、昨年度改訂した本校いじめ防止対策の基本方針を適切に運用する。	①生徒の人権意識を高め、情報モラル違反やいじめにより生徒の安心・安全な学校生活が脅かされないようにする。	①LHRや保健の授業等を通して「コロナハラスメント」「DV」防止を呼び掛けることができた。 ②「いじめに関するアンケート」「心のアンケート」「生徒実態調査」の結果を受けて、速やかに対応することができた。	B	○情報モラル違反やいじめの重大事態が起こらなかった。 ▲アンケートには生徒全員がWEBで確実に回答できるよう、統一の時間を確保する必要がある。 ▲「自分の命は自分で守る」た	A Ⓑ C

	②本校の地域的特性や生徒の特質に応じて、想定される危険を明確にして「危機管理マニュアル」の見直し・改善を図り、生徒の安全を確保する。	②「危機管理マニュアル」の見直しを図ることで、適切かつ具体的な対応策を、教職員や生徒に提示する。	②関係機関一覧には業務時間を加え、設備点検や備蓄品維持管理の実施日一覧表には、定期点検予定日、点検実施日と点検担当者の記録欄を設けるなど、改善することができた。	B めの、正しい避難訓練の在り方を早急に検討する必要がある。	D
--	--	--	--	-----------------------------------	---

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年1月15日

12 来年度に向けての改善方策案

<p>1 学校経営 健康チェックや消毒等、コロナ禍で、大変よくやってくれた。感染症クラスターを発生させないために、密になる行事を大幅に見直したが、生徒の気持ちをフォローし、尊重してやってほしい。将来各界のリーダーとなっていく生徒の自律的判断力を育て、学校と生徒の両方で今までであったもの見直し、新たに作り上げて行ってほしい。</p> <p>2 学習指導 年度当初のオンライン学習支援の体制を、県下で一番早く整備したことを始め、教員の高いICT能力に感銘を受けた。今後も一人一台のタブレット導入を受け、MetaMoji等を活用して、生徒にいろいろと体験させてほしい。ただし、整備されたICT環境が学力の向上につながっているのかどうか、ぜひ検証してほしい。</p> <p>3 進路指導 大変な状況のなか、共通テストへの準備を含め、生徒の進路実現のために尽力していただいた。生徒たちはきっと力を発揮してくれると信じている。また今後同窓会による動画コンテンツ等の制作のような支援をいただき、子どもたちに「こういう大人になりたい」という刺激を与えるような仕組みを作ってほしい。</p> <p>4 生徒指導 先生方の熱心な指導が、子どもたちの力につながっていると感謝している。今後も定期的なアンケート等を実施しながら、ICTについていけない生徒、ひきこもりがちな生徒等、子どもたちの姿をよく見て対応をお願いしたい。</p>

<p>1 学校経営 ①新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施するとともに、安心安全な学校行事の有り方について工夫する。 ②押印の廃止及び各種申請のデジタル化に伴う内規の改訂、HPの改訂</p> <p>2 学習指導 ①一人一台のタブレット、GONet、MetaMojiなど整備されたICT環境を効果的に活用することで、主体的な学びを推進し、学力向上を図る。 ②令和4年度からの新教育課程の指導計画を立案するとともに、観点別評価と総括評価の在り方を研究する。</p> <p>3 進路指導 ①2021年度大学共通テストを分析し、求められる能力を伸ばすために工夫を凝らした土曜特講、夏季補習を展開する。 ②同窓会と協力してICTを利用したキャリア教育の充実を図るとともに、最難関大学を志望する生徒を中心に、効果的な講習会や進路面談の場を設け、生徒の向学心や進路意識を高める。</p> <p>4 生徒指導 ①18歳成人等を見すえた校則の改訂や内規の見直しの検討 ②生徒・職員の危機管理意識の高揚と学校安全（交通安全、生活安全、災害安全）教育の充実を図る。</p>
